株式会社山と渓谷社

オフィシャルパートナーとしての企業紹介（参加目的等メッセージ、商材、連絡先など）

弊社は1930年の創業以来、一貫して登山・アウトドアの魅力を発信してきた山岳専門メディアです。発行する雑誌、ウェブサイト、YouTube等の媒体を通じ、国立公園を含む山岳地の自然や文化、登山の安全、環境保全に関する情報を幅広く発信しています。

担当者（問合せ先）：　法人営業部 伊藤洋平　　連絡先：ito-yo@yamakei.co.jp

パートナー参加に関する基本的な姿勢、考え等

＜関心のある課題、取組＞
登山を目的に訪れる人々は、観光客が訪れない地域にも足を運びます。しかし、登山者の多くは早朝に登山口へ到着し、下山後すぐに帰路につく傾向があり、**地域経済への波及効果が限定的**です。その結果、登山者が地域にもたらす価値が充分に認識されず、**地域側が積極的な受け入れ体制を整えにくい**という課題があります。このような状況を踏まえ、弊社では、登山者が地域に滞在し、食事や宿泊、買い物を通じて地域とつながる**「トレッキングツーリズム」を提唱**しています。登山と地域振興を両立させるこの考え方をもとに、各自治体や企業と協働し、自然体験と地域経済の好循環を実現する取組を進めています。

＜企業等の強み等＞
専門性と信頼性に裏打ちされた編集力を強みとし、**登山者・地域・行政をつなぐハブ**として、国立公園の魅力発信から安全登山啓発、地域活性化まで一貫した発信・実践が可能です。

＜目標、実現したいこと＞
国立公園を中心とした地域で、登山者と地域がともに恩恵を受ける仕組みを構築することをめざします。具体的には「トレッキングツーリズム」を通じて、**登山者が地域に滞在し、自然体験や文化交流を楽しむことで、地域経済と環境保全が両立する**モデルケースを各地に広げていきたいと考えています。その成果として、登山文化の継承、安全登山の普及、地域の魅力再発見を通じて、**国立公園の価値を次世代へとつなぐ持続可能な登山観光の実現**を目標とします。

具体的な取組内容

＜本年度の取組＞
（1）情報発信の強化
雑誌、ウェブ、YouTube、SNS等の媒体において、国立公園の魅力、登山の安全知識、自然環境保全に関するマナー・モラルなどを積極的に発信します。特集記事や映像コンテンツを通じて、幅広い層に国立公園の価値を訴求します。
（2）交流人口の創出（地域の活性化）
弊社が提唱する「トレッキングツーリズム」の理念のもと、登山をきっかけに地域に経済的効果をもたらす仕組みを推進します。地域事業者や自治体と連携し、登山＋地域体験のツアー企画や特集記事・動画配信を通じて、登山前後の消費を促進します。
（3）関係人口の創出（山麓での暮らしの促進）
山岳地域への移住・定住に関心をもつ登山者を対象に、地域と登山者をつなぐ移住促進事業を展開します。弊社のネットワークを活用し、山麓移住者による観光・地域振興事業の立ち上げ支援など、国立公園を核とした地域づくりに寄与します。

＜次年度取組予定、構想＞
R7年度では、次世代育成の観点から、大学山岳部・ワンゲル部にアンケートを取り、国立公園の山を歩く現役の学生が悩んでいる点などを聞き取り調査しました。
また、学生同士の交流が少ないというワンゲル部を中心に交流会を企画・開催したところ好評でしたので、R8年度以降も次世代育成に注力してまいります。
（参考）山と渓谷社Instagramアカウント